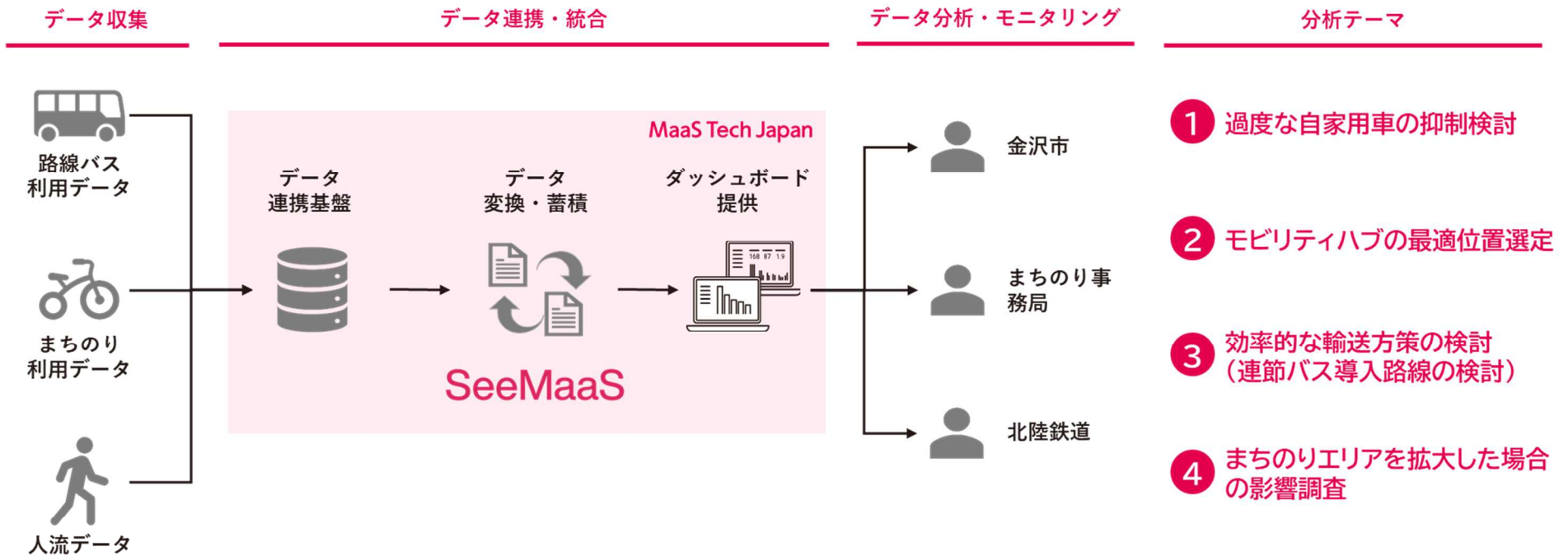


# 交通・人流データ等を活用した 現況分析について

# 金沢MaaSコンソーシアムにおける交通データ活用事業

路線バス(北陸鉄道)とまちなりの利用データ、人流データを用いて、4つのテーマについて分析を実施



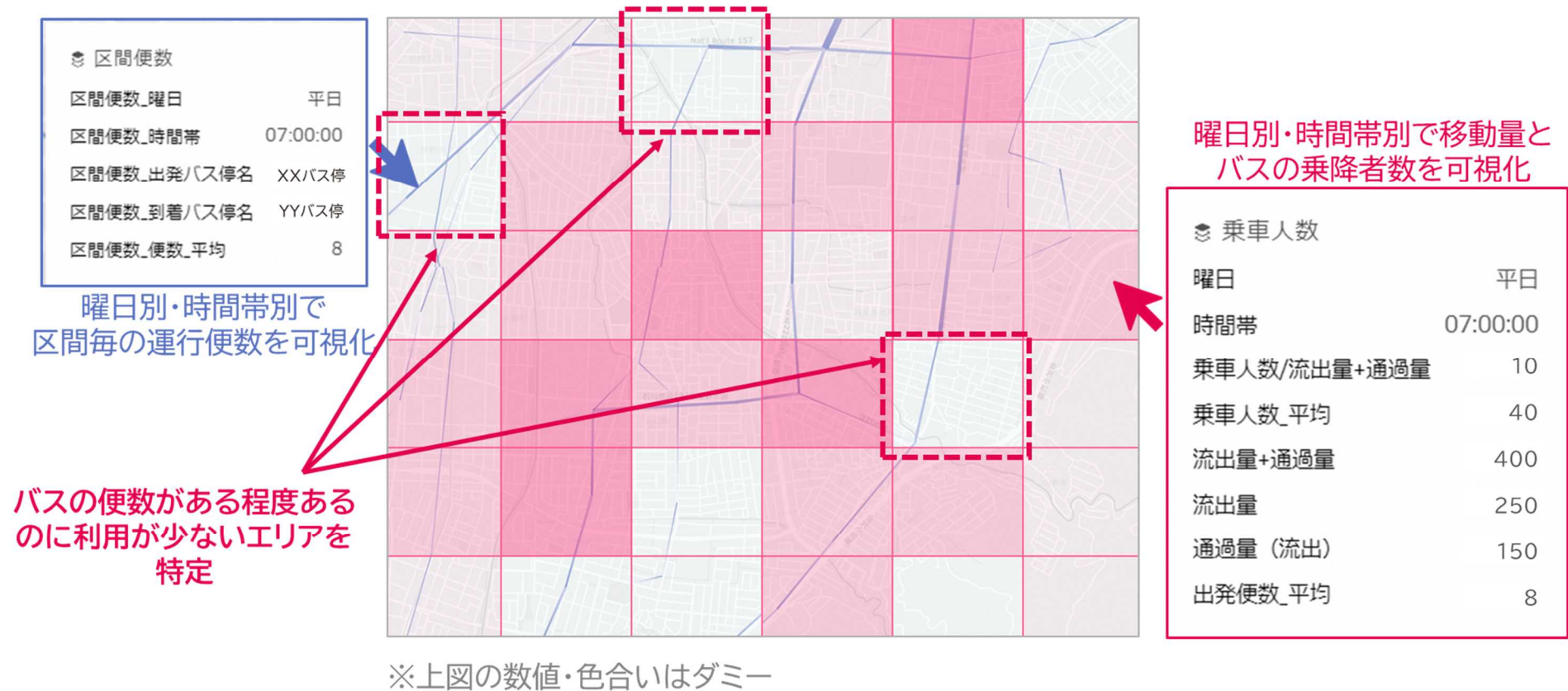
# 分析テーマにおける活用データとゴール

各テーマにおいて活用するデータとゴールは以下のとおりです。

No.	テーマ	ゴール	活用データ
①	過度な自家用車の抑制検討	潜在的な移動需要と公共交通実績を比較し、公共交通の増強可能性が高い地域を特定する (まちなりポート新設候補地の検討を含む)	路線バス利用データ 人流データ
②	モビリティハブの最適位置選定	モビリティハブの要件(定義)を決めた上で、初期段階で設置すべきモビリティハブの位置と必要設備を特定する	路線バス利用データ 人流データ
③	効率的な輸送方策の検討 (連節バス導入路線の検討)	路線バスのルートを対象に輸送人員が多い地域を可視化し、連節バス導入により効率的な輸送が実現可能な路線等を特定する	路線バス利用データ
④	まちなりエリアを拡大した場合の影響調査	学生が居住する地域でのポート増設実証実験による、まちなりの利用状況への影響及び路線バスならびに人流の変化を検証する	路線バス利用データ まちなり利用データ

# イメージ

移動量(人流データ)と公共交通利用者数(路線バスの乗降データ)を比較することにより、公共交通の利用が少ないエリアを特定し、まちのりの新規エリア設定の候補等を検討。



# データ連携とデータ活用のためのプラットフォーム「SeeMaaS」

「SeeMaaS」は、移動に関わる様々なデータを統合・可視化し、地域交通の現状・課題の把握や施策のモニタリングと効果検証を実現。

